



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	深瀬忠一教授の経歴と業績
Citation	北大法学論集, 40(5-6下), 1427-1443
Issue Date	1990-09-17
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/16744
Type	other
File Information	40(5-6)2_p1427-1443.pdf



深瀬忠一教授の経歴と業績

深瀬忠一教授経歴

- 一九二七年 三月 一日 高知県吾川郡弘岡上の村に生まれる
- (昭和二)
- 一九四〇年 四月 東京陸軍幼年学校入学
- 一九四三年 四月 陸軍予科士官学校に進む
- 一九四五年 九月 敗戦により陸軍士官学校(五九期)より復員
- 一九四七年 四月 第一高等学校文科丙類入学
- 一九五〇年 三月 第一高等学校文科丙類卒業
- 四月 東京大学法学部法律学科入学
- 一九五二年 五月 ウォルサー平和基金懸賞論文一等賞を受く
- 一九五三年 三月 東京大学法学部法律学科卒業
- 六月 一日 北海道大学法経学部助手
- 内地研究員として東京大学法学部宮沢俊義教授のもとで研究に従事(五年九月三〇日まで)
- 一九五三年 八月 一日 北海道大学法学部助手
- 一九五六年 四月 二六日 北海道大学法学部助教
- 一九五七年 九月 フランス政府給費研究留学生としてパリ大学法学部へ、その後、アメリカ合衆国へ出張(五九年一二月まで)
- 一九六〇年 四月 北海道大学教養部、法学部、大学院法学研究科授業担当
- 一九六二年 三月 法学博士(北海道大学)
- 一九六四年 二月 一日 北海道大学法学部教授
- 一九六八年 一月 フランス政府給費技術留学生としてフランス国立行政研修所(ENNA)へ、その後、アメリカ合衆国へ出張(六八年九月まで)
- 一九七一年 七月 北海道大学学生部委員会第一小委員会(学寮)委員長(七二年三月まで)
- 一九七二年 八月 北海道大学協議員・評議員
- 一九七五年一二月 日本学術会議平和問題連絡委員会委員(継続中)
- 一九七七年一〇月 パリ法経社会科学大学(第二大学)客員教授(七八年三月まで)として

大学院で日本憲法を講義

フランスに出張

一九七八年二月一五日

北海道大学法学部長・北海道大学大学院法学研究科長（八〇年一二月まで）

一九九〇年 三月三一日 北海道大学教授定年退官

一九八一年一〇月

ポワチエ大学より名誉博士号を授与

非常勤講師等

さる

北海道大学（教育・文・経済学部・工業教員養成所）、北海学園大学、北星学園大学、札幌商科大学、北海道郵政研修所、名古屋大学法学部。広島大学平和科学研究センター客員研究員（継続中）。

一九八三年 九月

フランス政府より文化功労・騎士賞（パルム・アカデミック・シュバリエ）を授与さる

国際憲法学会第二回世界大会（パリ、エクス）、第一三回法による世界平和大会（ソウル）参加・議長・報告

一九八七年 八〜九月

浅野順一（記念会）賞を授与さる

学会等

一九八八年 六月

（昭和六三）

日本公法学会（理事）、日仏法学会（理事）、日本平和学会（理事）、全国憲法研究会（運営委員）、憲法理論研究会、日本民法

一九八九年 五〜六月

（平成元）

主法律家協会（理事）、比較法学会、札幌日仏協会（理事長）、札幌独立キリスト教会（執事）、La Société de Législation Comparée (Paris) 推挙会員。

一九八九年 五〜六月

フランス革命二〇〇年記念憲法院シンポジウム出席、日仏国際シンポジウム（九月、北大で開催）準備のためフランスに出張

エクス・アン・プロヴァンス大学、グルノーブル大学で講演のため、フ

一一月

エクス・アン・プロヴァンス大学、グルノーブル大学で講演のため、フ

深瀬忠一教授業績一覧

I 著書・編書・訳書

一九六七年

恵庭裁判における平和憲法の弁証

日本評論社

聖書の平和主義と日本国憲法(共著)

聖燈社

一九六八年

M・デュヴェルジェ著『社会科学の諸方法』(共訳)

勁草書房

平和憲法を守るキリスト者(共編著)

新教出版社

一九七五年

北からの平和(共編著)

新教出版社

長沼裁判における憲法の軍縮平和主義

日本評論社

一九七七年

戦争の放棄(文献選集 日本国憲法3)(編・解題)

三省堂

安保体制論(文献選集 日本国憲法14)(共編)

三省堂

一九八〇年

議会における立法過程の比較法的研究(共編著代表) 勁草書房

一九八二年

北国の理想——「クラーク精神」の純化と展開——(共編著)

新教出版社

札幌独立キリスト教会一〇〇年の歩み 上、下巻(共編著)

札幌独立キリスト教会

一九八四年

Le Constitutionnalisme et ses Problemes au Japon : une

approche comparative. (共著)

Paris, Presses Universitaires de France

一九八七年

戦争放棄と平和的生存権

岩波書店

平和憲法の創造的展開(共編著)

学陽書房

一九八八年

北海道で平和を考える(共編著)

北大図書刊行会

一九八九年

Etudes de droit japonais. (共著)

Paris, Center Français de Droit Comparé

一九九〇年

平和の憲法と福音

新教出版社

フランス革命・人権宣言二〇〇年と日本・アジア(共編著)

勁草書房(予定)

II 論説

一九五六・五七年

フランス憲法史における条約と国内法(一) (二) (三)

北大法学会論集七卷二、三・四号、八卷一・二号

一九五九年

Le fonctionnement de la Constitution japonaise de 1946.

Revue Internationale de Droit Comparé, 1959, no.4.

一九六〇年

フランス第五共和制憲法の成立とその基本構造

ジュリスト一九四号

フランスの議院と条約修正権

ジュリスト一九九号

バンジャマン・コンスタンの中立権の理論

一九六二年

衆議院の解散—比較憲法史的考察

宮沢俊義先生還暦記念論文集「日本国憲法体系四」有斐閣

フランスの憲法審査院—その性格と実績 ジュリスト二四四号

議院内閣制

別冊ジュリスト 法学教室第3号
フランスにおける立法過程に関する文献—J・P・ビュフラン

氏の解説を中心に—

北大法学論集一三卷一—号

立法過程の研究—フランス

一九六三年

高野雄一「憲法と条約」(紹介) 国家学会雑誌七六卷七・八号

Théorie et réalités de la formule constitutionnelle

japonaise de renonciation a la guerre.

Revue du Droit Public et de la Science Politique

en France et a l'Etranger, 1963, no.6.

島松演習場事件と違憲問題 世界昭和三十八年九月号(一一三号)

G・エロー教授の法理論の特質 北大法学論集一四卷二号

一九六四年

自衛権・自衛戦力—憲法前文と第九条の評価

ジュリスト二八九号

惠庭事件と自衛隊法の違憲問題(一) (二)

法律時報三六卷一、三号

日本国憲法における両院制の特色

清宮・佐藤編「憲法講座・第3巻」国会・内閣 有斐閣

一七八九年人権宣言研究序説(一) (二)

北大法学論集一四卷三・四号 宮崎教授退職記念特輯

同

自衛隊の合憲性に関する公法学者の意見 法律時報三六卷五号

一五卷一号

国会による条約承認の効果と修正権

ジュリスト三〇〇号 学説展望

A・エスマンの憲法学——フランス現代憲法学の形成 1

北大法学論集一五巻二号

一九六五年

議會制民主主義の展開

芦部編「岩波講座現代法3・現代の立法」 岩波書店

L・デュギイの行政法論と福祉国家(a)——フランス現代憲法学の形成 2

北大法学論集一六巻二一・三号 神谷教授追悼記念特集

一九六六年

恵庭事件公判経過資料(編) 法律時報三八巻二号

恵庭事件における憲法解釈上の諸問題 法律時報三八巻二号

L・デュギイの行政法論と福祉国家(b)——フランス現代憲法学の形成 3 北大法学論集一六巻四号

民主憲法に関する国民世論——北海道地区 法律時報三八巻六号

恵庭事件公判レポート(一)〜(六・完)

法律時報三八巻五、八、九、一一、一三号、三九巻三号

一九六七年

憲法——防衛制度(一)自衛隊

ジュリスト三六一号・特集 戦後法制度の二〇年

フランスにおける政治生活(J・ロベール教授講演)

北大法学論集一七巻三号

M・デュヴェルジュ教授とJ・ロベール教授を迎えて

北大法学論集一七巻三号

恵庭は今日も眠っていない——特別弁護人の回想と展望——

法律時報三九巻五号・臨時増刊 特集・恵庭裁判

憲法の平和主義の背景と意義(恵庭事件弁護団最終弁論)

法律時報三九巻五号・臨時増刊 特集・恵庭裁判

恵庭事件の経過とその問題点 ジュリスト三七〇号

恵庭裁判の経緯と争点——恵庭裁判と憲法第九条——

世界 昭和四十二年六月号(二五九号)

札幌地裁からの報告 現代の眼 八巻六号

恵庭事件の残した問題——違憲審査制討論の素材として——

法律時報三九巻九号

一九六八年

一七八九年人権宣言研究序説(三) 北大法学論集一八巻三号

フランス高級官僚養成の制度と実態

石橋政一郎先生古稀記念論文集

「現代ヨーロッパ法の動向」

勁草書房

一九六九年

La récente évolution du régime parlementaire japonais.

Revue de Droit Public et de la Science Politique

en France et à l'Etranger, 1969, no.3.

一九七〇・七一年

転回点にたつ無軍備・非核平和主義——「長沼事件」をめぐる

憲法問題(1)～(8)

(1)～(5) 序、「恵庭」と「長沼」の比較的考察、

「長沼事件」の多様な憲法問題——生活と平和を守る農民

の意識と組織、自衛隊の実態と違憲性の審査

法律時報四二卷三、四、六、一一、一二号

(6)(7)「平賀書簡」に関連する裁判の独立性と問題性

——平賀判事の憲法解釈論の特色

(8) ——福島判事の裁判の独立をめぐる見解と態度

法律時報四二卷一四号、四三卷一〇、一四号

一九七二年

戦争放棄と軍備撤廃の法思想史的研究(一)

宮沢俊義先生古稀記念、「憲法の現代的課題」 有斐閣

転回点にたつ無軍備・非核平和主義——「長沼事件」をめぐる

憲法問題(9)～(11)

「平賀書簡」に関連する裁判の独立性と問題性

(9) ——福島裁判長の忌避申立に対する態度の検討

(10) ——福島判事の訴追委決定に対する態度の検討

(11) ——福島判事の札幌高裁処分に対する態度の検討

法律時報四四卷九、一二、一三号

一九七三年

転回点にたつ無軍備・非核平和主義——「長沼事件」をめぐる

憲法問題(12)～(14・完)

(12) 長沼訴訟における自衛隊の実態証言の検討

(13) 長沼証言による自衛隊の基本的性格

(14) 長沼訴訟における憲法判断のあり方と平和主義の将来

法律時報四五卷四、八、九号

国会の条約承認権

芦部他編「演習憲法」 青林書院新社

憲法の平和主義・第九条の解釈と自衛隊(長沼ナイキ判決をめぐって)

判例時報七一二号

憲法の平和主義と裁判

公法研究三五号

長沼判決の積極的・創造的側面の考察(一)

法律時報四五卷一四号

長沼判決をめぐる平和憲法の理想と現実(一)(二)

ジュリスト五四九、五五〇号

一九七四・七五年

長沼判決をめぐる平和憲法の理想と現実(三)(四・完)

ジュリスト五五二、五五五号

長沼判決の積極的・創造的側面の考察(二)(四・完)

法律時報四六卷二、三、四号

議院制と大統領制の間のフランス第五共和制(G・ウデル著)

ジュリスト五五七号

Garantie des Droits de l'homme au Japon : Rapport

japonais au IXème Congrès International de Droit

Comparé, 1974.

第九回国際比較法学会日本報告集

フランス公法最近文献覚え書き(共著)北大法学論集二五卷四号

文民統制をめぐる比較憲法的考察(北海道比較憲法研究会編著)

法律時報臨時増刊「憲法と平和主義」 日本評論社

一九七六・一九七七年

「平和的生存権」と恵庭・長沼裁判(フォーラム)報告

法学セミナー二五〇号

フランス公法最近文献覚え書き(共著)

北大法学論集二六卷四号

長沼控訴審判決と憲法の平和主義(一)～(四・完)

法律時報四八卷一一、一二号、四九卷一、二号

フランスにおける「行政法の憲法的基礎」をめぐる論争について(一)

北大法学論集二七卷三・四号 今村成和先生献呈特集

明治および一九四七年憲法における天皇と国民と主権の問題

(J・M・マキ教授講演)

北大法学論集二七卷三・四号 今村成和先生献呈特集

The Concept of Peace in Postwar Japan.

Peace Research in Japan, 1974-1975.

国会法と国会運営

ジュリスト六三八号・臨時増刊
日本国憲法—30年の軌跡と展望

The Peace Constitution Japan Quarterly, 1977, no.3

フランスにおけるグラン・コールとしての国務院の一考察(二)

北大法学論集二八卷二号

フランス公法最近文献覚え書き(一九七六～一九七七)(共著)

北大法学論集二八卷二号

一九七八年

平和憲法の問題状況と「平和研究」

平和研究三号

De quelques aspects particuliers et universels de la paix constitutionnelle Japonaise.

Revue Internationale de Droit Comparé, 1978, no. 4.

北からの災たふさと平和 — 一つの根本的省察 — 創文二〇二号

議会における立法過程 — 序 (研究経過、共通問題)、共通問題

〈平和と日本〉の行方 その原点・盲点・転回点

整理

比較法研究 40号

福音と世界 一九八一年五月号 (36卷5号)

フランスの最近の公法学の教育および研究・文献覚え書き

特集 平和の倫理

(一九七七—一九七八) (共著) 北大法学論集二九卷二号

憲法第九条を考える — 変わるものと変わらぬもの —

一九七九年

法学セミナー三一八号

カントの平和の法思想について — フランス革命の憲法原則との関連の検討

ヨーロッパ共同体議会の憲法的・国際法的側面の一考察
今村成和教授退官記念「公法と経済法の諸問題」上 有斐閣

北大法学論集二九卷三・四号 矢田教授退官記念特集

ヨーロッパ共同体裁判所の国際法的・憲法的側面の一考察

フランス — 征服戦争放棄と平和 (九条の比較憲法的検討)

北大法学論集三一卷三・四号下 小山教授退官記念特集

法律時報五一卷六号・臨時増刊 憲法九条の課題

フランスにおける車と航空機の騒音に対する法

明治憲法制定をめぐる法思想

(R・ゴワ教授講演) 北大法学論集三二卷一号

宮沢・大河内監修 (近代日本思想史大系第七卷)

一九八二年

野田・碧海編「近代日本法思想史I」 有斐閣

平和に生きる権利 (平和的生存権) (第二回日ソ法学者シン

平和憲法の新しい総合的省察 — 平和的生存権の論理と展望

ポジウム (四月五日—二日、東京・関西) 第2回会議日本

世界 一九七九年九月号 (四〇六号)

側報告) 第二回日ソ法学者シンポジウム日本報告集

日本平和学会編「平和と人権」早稲田大学出版社

長沼上告審について思う — 憲法の平和主義と関連裁判の再考

一九八〇・八一年

察(上)(下) ジュリスト七七一、七七二号

フランス公法最近文献覚え書き (一九七八—一九七九) (共著)

L'Objection de Conscience au Japon : Rapport japonais au

北大法学論集三〇巻四号

XIème Congrès International de Droit Comparé, 1982.

平和主義裁判の動向
第一回国際比較法学会日本報告集

田畑忍編「危機に立つ日本国憲法」 昭和堂

一九八三年

Прав жить в мире.

Право и социальный прогресс, 1983.

長沼最高裁判決と憲法の平和主義—恵庭・長沼裁判の20年の意義と今後の展望(上)(下) 法学セミナー三三六、三三七号

恵庭・長沼裁判20年の成果と課題—「平和的生存権」の法的防衛線と日常的展開線 法学セミナー増刊 総合特集

シリーズ22「憲法と平和保障」 日本評論社

ジャン・ジョレスの平和の思想と生

—「新国軍論」をめぐる 野田良之先生古稀記念

「東西法文化の比較と交流」 有斐閣

一九八四年

日本の立法過程の特色—比較法的視点から

ジュリスト八〇五号

フランス公法最近事情および文献覚え書き(一九八〇—一九八三)(共著)

北大法学論集三四卷三・四号

平和憲法は冬眠しているか—憲法解釈学の一つの今日的課題

北大法学論集三四卷三・四号

北方軍拡・対・平和憲法の危機的状況—戦争の発火点か平和再建の起点か

平和憲法の憲法学と平和学 日本平和学会ニュース・レター一九八四年一二月号

フランス第五共和制における憲法的・政治的变化—とくに一九八一年ミッテラン政権以後について—

一九八五年 (B・ジャンノー教授講演) ジュリスト八二七号

解散権問題と定数違憲判決 ジュリスト八三〇号

平和憲法の原点の発展的解釈—近代・現代平和思想の流れのなかで— 法律時報五七卷三号

フランスソワ・ミッテラン大統領の外交および防衛政策

補註・フランス第五共和制の政治体制における大統領主義的偏向 (B・ジャンノー教授講演) 北大法学論集三五卷五号

フランス社会主義の経歴と行政大改革 (B・ジャンノー教授講演) 日仏法学12号

憲法第九条を考える 全国憲法研究会編「五月三日の本」 日本評論社

北大法学論集三四卷三・四号

憲法第九号を考える

全国憲法研究会編「五月三日の本」 日本評論社

北大法学論集三四卷三・四号

憲法第九号を考える

全国憲法研究会編「五月三日の本」 日本評論社

北大法学論集三四卷三・四号

憲法第九号を考える

全国憲法研究会編「五月三日の本」 日本評論社

北大法学論集三四卷三・四号

憲法第九号を考える

全国憲法研究会編「五月三日の本」 日本評論社

北大法学論集三四卷三・四号

憲法第九号を考える

全国憲法研究会編「五月三日の本」 日本評論社

北大法学論集三四卷三・四号

Héritage et actualité de l'ancienne culture institutionnelle

Japonaise — à propos de la Charte de dix-sept articles du Prince-Dauphin Shōtoku.

Revue Internationale de Droit Comparé, 1985, no.4.

L'article 9 : la renonciation à la guerre.

Pouvoirs 1985, no.35 (no spec Le Japon)

選挙権と議員定数配分 シュリスト増刊 法律学の争点

シリーズ2へ憲法の争点へ新版

非暴力行動と政治の一考察 — 「市民抵抗」による防衛について

北大法学論集三六卷一・二号 富田教授追悼記念特集

一九八六年

幣原喜重郎の軍縮平和思想と実行

佐藤功先生古稀記念「日本国憲法の理論」 有斐閣

フランスの「レジスタンス」の意義と思想についての一考察

(名古屋大学)法政論集一〇九号

長谷川正安教授退官記念論文集

フランス第五共和制憲法の多角的・総合的検討について

北大法学論集三六卷五・六号

現代における平和憲法の思想的課題 久田栄正教授古稀記念

「現代における平和憲法の使命」三省堂

一九八七年

日本国憲法の理念と現実 — 平和主義を中心として

シュリスト八七五号 特集・転換期の日本法制

La définition constitutionnelle des droits et des libertés :

Le Rapport japonais pour le IIème Congrès Mondial de

l'Association Internationale de Droit Constitutionnel,

Paris - Aix-en-Provence, 31 août - 4 septembre 1987.

第二回国際憲法学会世界大会日本報告集

日米安保・自衛隊体制の再検討から平和憲法的総合平和構想へ

法学セミナー増刊・総合特集シリーズ38

「これからの日米安保」 日本評論社

平和憲法の擁護と創造

友和一九八七年一〇月特別号

国際的な憲法学の新しい息吹き — 第二回国際憲法学会世界大

会と第13回法による世界平和大会 法律時報五九卷一三号

Recherches et Enseignements sur la Constitution au Japon :

Japanese Report for the XIIIth World Conference of the

World Peace through Law Association in Seoul, 6-11

September 1987. 第一三回法による世界平和大会報告集

一九八八年 平和憲法の転機と総合的平和保障構想 — INF全廃条約調印

を契機に考えるべきこと 法学セミナー四〇二(六月)号

一九八九年

Yoshiharu Tsuboi, L'Empire Vietnamien face à la France

平和憲法の転機と世界化の可能性 共助一九八九年一月号

et à la Chine 1847-1885 を読んで——フランス憲法研究

国際学会から見た象徴天皇制(上)(中)(下)

者の随想

日仏法学15号

ジュリスト九三三、九三四、九三六号

現代国際法上の自衛権についての一考察——日本国憲法にお

フランス人権宣言二〇〇年記念・憲法院主催シンポジウム

ける自衛権の解釈のために

ジュリスト九三八号

北大法学論集三八巻五・六号上 山島教授退官記念特集

韓国・フィリピン・中国憲法における平和・人権条項比較の第

Les grands choix politiques et administratifs de L'Etat : le

一次作業——東アジア・太平洋地域人権憲章作成準備の一資料

Droit constitutionnel japonais : Le Rapport pour les

として——北大法学論集三九巻五・六号下

Ilèmes Journées Juridiques Franco-Japonaises, Tokyo.

五十嵐教授・藪教授退官記念特集

Kyoto, 3-13 octobre 1988.

一七八九年人権宣言研究序説(四) 北大法学論集四〇巻一号

第二回日仏法学共同研究会報告集

一九九〇年

Avant-Projet provisoire de la Loi de base sur l'Assurance

La Justice et la Liberté.

synthétique de la paix (総合的平和保障基本法試案(仏訳))

C. Sauter et Y. Higuchi éd. "L'Etat et L'Individu

同右報告集 付録

Paris, sous presse, 1990.

なお、深瀬・英訳あり。中国語訳および解説は左記、

フランスと平和憲法とともに生きた四五五年

鈴木敬夫 法学譯叢(北京)八八年第五期五七頁

北大法学部最終講義プリント

フランス革命の人権宣言をめぐるラファイエットとジェファー

ソン 和田英夫教授古稀記念論文集

「戦後憲法学の展開」 日本評論社

III 判例批評・解説類

一九五四年

旅券法一三条一項五号の合憲性（東京地判昭27・9・27 行裁

例集三卷九号一八六三頁）

自治研究三〇卷五号

一九五五年

買取時に当該農地につき耕作を営む小作農を、売渡の相手方と

定めることが適当でないかどうかの認定（自創法施行令一七

條一項但書）は羈束行為か（仙台高判28・2・11 行裁例集

四卷三号一頁）

自治研究三一巻七号

一九六〇年

最高裁判所裁判官国民審査制の意義（最大判昭和27・2・20

民集六卷二号一二二頁）

ジュリスト臨時増刊 続判例百選

別冊ジュリスト3号 同

（第二版 一九六五）

一九六二年

条例一般（公衆浴場法・福岡県条例）（最大判昭30・1・26 刑

集九卷一号八九頁）

ジュリスト臨時増刊 行政判例百選

公安条例（東京都条例）（最大判昭35・7・20 刑集九卷九号一

二四三頁）

ジュリスト臨時増刊 行政判例百選

別冊ジュリスト28号 同

（新版 一九七〇）

別冊ジュリスト61号 同

I（一九七九）

一九六三年

謝罪広告を命ずる判決は憲法一九条に反しないか（最大判昭

31・7・4 民集一〇巻七号七八五頁）

ジュリスト臨時増刊 憲法判例百選

別冊ジュリスト31号

マスコミ判例百選（一九七一）

別冊ジュリスト85号

同（第三版 一九八五）

一九六六年

天皇と不敬罪（最大判昭23・5・26 刑集二卷六号五二九頁）

ジュリスト増刊

基本判例解説シリーズ1 憲法の判例

同

（第二版 一九七一）

一九六九年

表現の自由（Société Frampar 事件 コンセイユ・ダタ1960.

6.24 (Rec. p. 412)

別冊ジュリスト28号フランス判例百選

一九七〇年

条例と罰則（大阪市売春等取締条例）（最大判昭37・5・30 刑

集一六卷五号五七七頁）

別冊ジュリスト28号行政判例百選（新版）

別冊ジュリスト61号 同 I（一九七九）

一九七四年

信条による差別——三菱樹脂事件（最大判昭48・12・12 民集二

七卷一—号一五三—六頁)

別冊ジュリスト44号憲法判例百選 (第三版)

別冊ジュリスト68号 同I (一九八〇)

別冊ジュリスト95号 同 (第二版一九八八)

一九八三年

長沼ナイキ基地訴訟上告審判決(最小判昭57・9・9 民集

三六卷九号一六七—九頁) ジュリスト七九二号・臨時増刊

昭和57年度重要判例解説

IV 随想・座談会等

一九七五年

平和と社会正義 法と民主主義 94号

一九七七年

宮沢俊義先生の人と学問(座談会)

ジュリスト六三—四号・臨時増刊

宮沢憲法学の全体像—宮沢俊義先生追悼

一九七八年

平和憲法の論理 朝日新聞10月17日夕刊

一九八二年

雪崩現象を防がねばならぬ ジュリスト七七—六号

参議院全国区制改革—意見・集

一九八三年

平和的生存権の継承・発展を 朝日新聞5月4日朝刊

一九八六年

野田先生の喚び声に聴く 追悼・野田良之 みすず三〇三号

一九八七年

平和憲法と「総合的平和保障構想」の現実的可能性(討論会)

法学セミナー増刊 総合特集シリーズ38

「これからの日米安保」 日本評論社

一九八九年

憲法訴訟・行政訴訟における政策決定問題(日仏法学共同研究

集会)(座談会)(日本側憲法報告担当)ジュリスト九三—二号

革命二〇〇年のフランスの旅 上、中、下

北海道新聞7月4、5、6日夕刊

国民の憲法感覚問う警鐘に—福島判事退官とその判決の意義

朝日新聞9月7日朝刊

フランス革命・人権宣言二〇〇年記念 日仏国際シンポ札幌大

会に参加して(ジャック・ロベール談)(翻訳)

北海道新聞9月14日夕刊

V 札幌源流のキリスト教精神史・平和論についての講

演・証詞・主張

一九六四年

身近にできること

先手と後手

一九六五年

分裂と結束

空転か決定打か

真実の追求

聖書の解釈

右手と左手

一九六六年

第四次元の国の民

平和の主体と質

勝利を疑わず

法の形式と実体

裁判の独立と民主

自衛権の魔術

一九六七年

平和のために血を流す

目覚めてあらしめたまえ

平和憲法の友一五号

恵庭事件の最終弁論を終わって

『平和憲法を守るキリスト者』所収

平和憲法の友 一号

一九六八年

同右 二号

時代は動くーフランス・アメリカより帰りて

札幌独立基督教会創立記念講演

平和憲法の友 三号

一九六九年

同右 四号

乳牛牧場と大学紛争

同右 五号

大学紛争と人間の問題

同右 六号

荒廃の彼方に

同右 七号

学問のあり方について

一九七〇年

平和憲法の友 八号

民主主義について

北大生協『北大生の生活』所収

平和憲法の友 九号

神の慈愛と峻厳

恵庭牧場の友 五号

同右 一〇号

転回点に立つ平和主義

同右 一一号

北海道キリスト者平和の会「かいほう」六号

同右 一二号

剣と言葉ー暴力と非暴力について

『北からの平和』所収

同右 一三号

一九七一年

弱き足

『北からの平和』所収

平和憲法の友一四号

地を嗣ぐ

恵庭牧場の友 六号

恵みの庭と長い沼

『北からの平和』の友二二号

一九七四年

知られざるクラーク精神

『北からの平和』所収

中盤戦と持久戦略―平和創造の希望と確信

新春に向かつて

キリスト者平和の友七八号

人は如何にして天職を見出しうるか 『北からの平和』所収

時は迫った

平和憲法の友二六号

日本および日本人は今後如何にあるべきか―根元から考え直

一九七二年

「全きこと」を求めて

『かいほう』七号

す

人間の家族と神の家族

『北からの平和』所収

一九七六年

ヴェトナムに直ちに停戦をもたらすための訴え(その理由)

『北からの平和』所収

クラーク精神の虚と実 大学と社会と人間を考える三一―号

『北からの平和』所収

一九七七年

夢とその実現過程

大学と社会と人間を考える三三―号

一九七三年

ヴェトナム戦争の教訓―日本型抵抗力と平和創造力をめざし

キリスト者平和の友八四号

新しい時代に向かつて―三度パリの屋根の下で考えたこと

黄色侵略軍のせん滅

『北からの平和』所収

「独立教報」六五号

理想主義(現実主義)の真偽

終りの始まり

『北からの平和』所収

現代社会事業の質 大学と社会と人間を考える三五号

二年、一〇年、二〇年

キリスト者平和の友八五号

一九七九年

札幌地裁長沼判決に対する声明

『北からの平和』所収

「羊」の知慧と新しい皮袋

ミッドウェーの教訓

平和憲法の友三一―号

楡の美德

『北国の理想』所収 同右

怒りと笑い

『北からの平和』所収

青年たちの将来のために語る

大学と社会と人間を考える三六号

喜びと前進の人生観について

大学と社会と人間を考える三七号

良きおとずれを告げる者

『北国の理想』所収 同右 三八号

一九八〇年

「猿」を超える

『北国の理想』所収 同右

「都ぞ弥生」とともに

『北国の理想』所収 同右

神に栄光、地に平和

大学と社会と人間と考える三九号

一九八一年

独立教会九九年の存在意義と将来について「独立教報」七七号

大学と社会と人間を考慮する四一四号

「人の和」―新しい世界平和の創造をめざして

大学と社会と人間を考慮する四二二号

一九八二年

職業と信仰

同右 四三三号

一人の価値と力

同右 四四四号

最良の人生について

同右 四四四号

福音的平和

大学と社会と人間を考慮する四八号

札幌福音的教育・平和研究会第一年度活動報告

一九八四年

日々、刻々と永遠

大学と社会と人間を考慮する四九号

人は何のため生きるか

同右 五〇号

世界平和に寄与しうる道（「日本文化」の自己批判）

大学と社会と人間を考慮する五一号

一九八五年

善をもって悪に勝て

「独立教報」九七号

内なる宝の再発掘（宮部金吾・新渡戸稲造論）

大学と社会と人間を考慮する五二二号

敗戦四〇年にあたり「戦争責任」を問いなおす

大学と社会と人間を考慮する五三四号

札幌福音的教育・平和研究会第三年度活動報告

「独立教報」一〇九号

一九八六年

大学と社会と人間を考慮する四七号

大学と社会と人間を考慮する四五号

生の道と死の道―平和憲法の源泉となる精神について

クラーク先生の精神と札幌独立キリスト教会

北大時報三八三号

無知から求道から信仰へ

主にある友情

「独立教報」一〇月

砧教会報一一月

今、クラーク精神とは

W・S・クラーク先生没後一〇〇年記念講演（北大主催）

北大歯学部病院讚

あわれみと生命の神

大学と社会と人間を考える六四号

同右 六五号

札幌に源流を発する平和創造力

大学と社会と人間を考える五五号

Principe directeur de la Société Franco-Japonaise de

札幌福音的教育・平和研究会第四年度活動報告

「独立教報」一二〇号

Sapporo (理事長あいさつ)

札幌日仏協会会報創刊号

一九八七年

君たちこそ世界平和をつくり出す

「愛農」一月号

革命二〇〇年記念のフランスに旅して

同右 六七号

残れる者に希望あり

「独立教報」三月

一九九〇年

女性が世界平和を守り創る時代

新しい人に造りかえられ、平和の君と共に歩む

「独立教報」二月

神の子の生命の誕生

大学と社会と人間を考える六八号

札幌福音的教育・平和研究会第五年度活動報告

「独立教報」一三七号

恵泉女学園六〇周年記念講演集

今、クラーク精神とは およびその英訳文

Living Dr. Clark's Spirit および

クラークの弟子達のヴィジョンの前進

W・S・クラーク先生没後一〇〇年記念文集